

ドイツ・イノベーション道をつけた。

・アワード「ゴットフリード・ワグネル賞2013」の受賞者を発表した。最優秀賞に谷口正輝・大阪大学産業科学研究所教授(40)の「1分子シーケンシング技術の開発」を選んだ。

谷口教授はナノテクノロジー(超微細技術)を駆使し、極微の世界で観測されるトンネル電流による1塩基の識別に成功。高精度で高速、安価に遺伝子の塩基配列を読み取れる新装置の実現に

## 最優秀賞に 谷口・阪大教授

### 独イノベーション賞

在日ドイツ商工会議所などは、シーメンス・シヤパン(東京・品川)など独系企業10社が資金拠出して日本の優れた若手研究者を表彰する第5回

優秀賞は小野輝男・京都大学化学研究所教授

(45)の「スピンゲイナミクスを利用した不揮発性メモリーの研究」。

「秀賞」は大場雄介・北海道大学教授(43)、一杉太郎・東北大学准教授(41)、

宮武健治・山梨大学教授

(44)に授与した。

賞金は最優秀賞400

万円、優秀賞200万円、

秀賞100万円。副賞と

して独大学・研究機関に

2カ月間滞在できる助成

金も受ける。